

当科にて開咬症の診断を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学千葉歯科医療センターにおいて下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

開咬における外科的矯正治療と矯正単独治療の診断基準の検討

2. 研究目的

上下の前歯がかみあわない状態（開咬症）の治療は、これまで前歯の上下的な移動で治す矯正歯科治療か、また骨格の上下的なズレが大きい場合は矯正歯科治療と顎の手術によって骨格の改善を図る方法がとられてきました。2012年より矯正歯科治療に歯科矯正用アンカースクリューという小さいネジを使用した矯正歯科治療が認可されました。これによってこれまで困難であった奥歯を上下的に移動させ（圧下）、開咬症を改善する方法が可能となりました。しかし、すべての患者様がこの方法が適しているわけではなく、もともとの奥歯の上下的な位置にある程度原因がある方が適応となると考えられています。

この研究の目的は、アンカースクリューを使用した治療法の診断基準を検討することで、この治療法の適応を明らかにすることです。

3. 研究方法

2006年1月から2019年3月の間に当科に来院し開咬症の診断の下、診断を受けられた患者様を対象とさせていただきます。この研究に使用する研究資料は患者様のこれまでの治療で撮影したレントゲン写真（側面頭部エックス線規格写真）です。治療前のレントゲン写真から各歯と骨格の位置関係を計測し、それらの計測値を治療法別に比較検討します。その上で計測値の違いと治療法との関係を解析いたします。

また本研究は倫理審査承認後から2020年6月1日までを研究期間として予定しております。

4. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

これまでの治療の中で撮影したレントゲン画像を使用いたしますので、当該研究によって患者様に何らかの負担が生じることはございません。また、今後の治療に対して何らかのリスクや不利益・利益が生じることもございません。

5. 個人情報等の取扱いについて

当該研究での個人情報の取り扱いについては連結対応表を作ることで匿名化をいたします。また、その他の個人情報（顔写真、お名前等）については、適切な処理（目隠し等）を行い、学会発表等で用いることはございますが、一般公開等はいりません。

対応表やその他の個人情報は研究責任者が鍵のかかる棚に責任を持って保管終了まで管理いたします。

6. 研究参加に関する事項

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

7. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

本研究に使用した情報等については5年間鍵のかかる棚に研究責任者の管理の下、保管し、その後廃棄いたします。

8. 研究の情報公開について

本研究の情報公開は日本顎変形症学会、日本矯正歯科学会にて発表・論文発表として行う予定です。

9. 倫理審査委員会の承認

本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者 立木千恵

連絡先 〒261-8502 千葉県千葉市美浜区真砂1-2-2

東京歯科大学千葉歯科医療センター 矯正歯科

電話：043-270-3903